

●調査レポート

埼玉県内主要産業動向調査(産業天気図)－2011年10～12月期－

調査対象：県内企業 570 社

調査方法：アンケート方式 (11月上旬 郵送回収)

回答企業：275 社(回答率 48.2%)

業種別内訳：製造業 163 社 非製造業 112 社

概況

今回の産業天気図は、前回の東日本大震災からの回復が一巡し、「曇り」が2業種減少し、「晴れ一部曇り」及び「曇り一部雨」が各々1業種増加するなど、雨混じり模様にはほとんど変化はなかった。

業種別に見ると、製造業では、加工組立型のうち輸送用機械が東日本大震災による停滞を挽回する在庫積み増しから「晴れ一部曇り」へ回復する一方、一般機械器具、電子部品・デバイス、精密機械は、海外経済の減速のほか、高止まりする円相場、タイの洪水被害が重なり、「曇り」から「曇り一部雨」へ各々後退している。また、生活関連型の飲・食料品は内食志向や自粛ムードが収まったことなどから「曇り一部雨」から「曇り」へ持ち直している。

非製造業では、卸売は供給制約が解消し、東日本大震災の復興特需などから「曇り一部雨」から「曇り」へ持ち直す一方、住宅建設が景気先行きの不透明感などから購買姿勢が慎重となるなど「曇り」から「曇り一部雨」へ後退している。

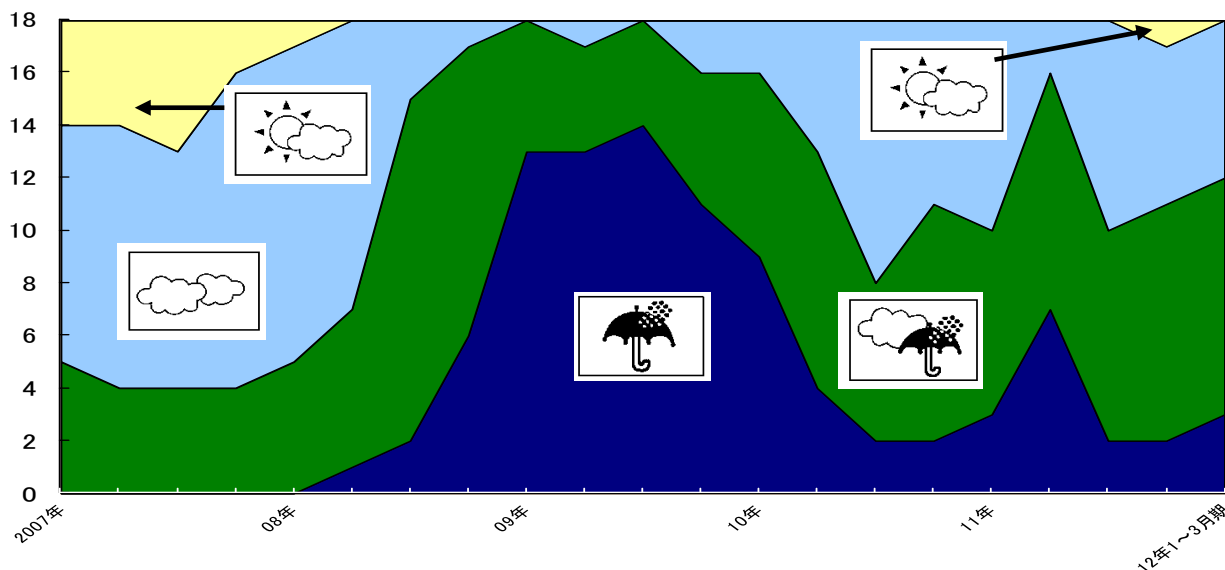
先行きについては、大震災からの復興需要が本格化するものの、引き続き円高、海外経済の減速、タイ洪水の後遺症に加え、欧州財政危機の深刻化も懸念されるなど、厳しさが予想される環境を反映して、天気図はやや後退する見通しとなっている。

天気図別の業種数

区分	晴	晴れ一部曇り	曇り	曇り一部雨	雨
2011年7～9月期 (前回)	0	0	8	8	2
2011年10～12月期 (今回)	0	1	6	9	2
2012年1～3月期 (先行き)	0	0	6	9	3

(業種数)

産業天気図



(注1) 天気マークとBSI基準の目安

天気マーク	晴	晴れ一部曇り	曇り	曇り一部雨	雨
BSI	100以下～50以上	50未満～20以上	20未満～-20超	-20以下～-50超	-50以下～-100以上